

問1 鎌倉幕府が「六波羅探題」という機関を新たに設置した目的と、その背景にある出来事の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年

茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. 室町幕府の内紛である観応の擾乱を受け、京都の治安維持を専門に行うため | 2. モンゴル帝国の襲来(元寇)に備え、九州沿岸の警備と西国武士の指揮を執るため | 3. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、京都の公家との外交交渉を円滑に進めるため | 4. 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため |
|---------------------------------------|--|--|---|

問2 鎌倉時代の文化において、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり…」という一節で知られる軍記物語があります。この物語が、文字を読めない庶民の間にも広く普及した理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 琵琶を弾きながら語り歩く琵琶法師によって、各地で語り伝えられたため | 2. 活版印刷の技術が普及し、安価な本として大量に出版されたため | 3. 朝廷が公式な歴史書として認め、各地の役所に書き写させたため | 4. 寺子屋で読み書きの教科書として広く採用されたため |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|

問3 鎌倉時代に成立した新仏教のうち、座禅を組むことで自ら悟りを開こうとする教えを持ち、鎌倉幕府の保護を受けて特に武士の間で広まった宗派を選びなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| 1. 浄土宗 | 2. 禅宗 | 3. 日蓮宗 | 4. 浄土真宗 |
|--------|-------|--------|---------|

問4 13世紀、モンゴル帝国がユーラシア大陸の東西にまたがる広大な領域を支配したことが、当時の社会にもたらした影響として最も適切な説明はどれか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 帝国によって広域の交通網が整備され、商人や使節の往来が容易になったことで、東西の文化交流や交易が活発になった。 | 2. イスラム教徒の商人が長安を都として独自の経済圏を確立したため、ヨーロッパ諸国との陸路による交易は完全に遮断された。 | 3. 大西洋を横断する航路が発見されたことで、アジアの香辛料がヨーロッパへ直接持ち込まれるようになり、陸上のシルクロードは消滅した。 | 4. 欧米の列強諸国が資源を求めてアフリカやアジアへの植民地支配を強めたため、それまでの伝統的な交易ルートがすべて破壊された。 |
|--|--|--|---|

問5 鎌倉幕府の第3代執権である北条泰時が、1232年に「御成敗式目(貞永式目)」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 元(モンゴル帝国)の襲来という国難に備え、御家人たちの土地をすべて幕府の直轄地に変えるための命令を出すため。 | 2. 藤原氏による摂関政治を復活させるため、天皇の許可を得て新しい法律を全国に配布し、律令制度を強化するため。 | 3. 承久の乱の後に急増した、地頭と荘園領主の間の土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。 | 4. 平清盛のような有力な武士が朝廷の権力を握るのを防ぐため、貴族や寺社を厳しく統制する基準を作るため。 |
|---|---|---|--|

問6 鎌倉時代の1232年、執権の北条泰時が制定した、武士の慣習に基づき裁判を公平に行うための基準を定めた法典はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 十七条の憲法 | 2. 公事方御定書 | 3. 武家諸法度 | 4. 御成敗式目 |
|-----------|-----------|----------|----------|

問7 源頼朝が征夷大將軍に任じられ、武士による政治が確立された鎌倉時代において、禅宗が武士の精神的支えとして広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 法華経こそが正しい教えであると説き、幕府に対して強い忠誠心を持つよう指導したことが、支配体制の安定に寄与したから。 | 2. 加持祈祷によって現世での利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の権威を象徴するものとして利用されたから。 | 3. 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。 | 4. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、学問の機会が少なかった地方武士に歓迎されたから。 |
|--|---|--|---|

問8 11世紀末、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪回するため、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された軍隊を何というか。 (2022年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|----------|------------|
| 1. 十字軍 | 2. ルネサンス | 3. 大航海時代 | 4. プロテスタント |
|--------|----------|----------|------------|

問9 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で地頭と荘園領主との間の紛争が急増しました。これに対し、3代執権の北条泰時が、御家人同士や地頭と領主の争いを公平に裁くための基準として1232年に制定した、武士独自の法を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|----------------|---------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 十七条の憲法 | 3. 御成敗式目(貞永式目) | 4. 建武式目 |
|-----------|-----------|----------------|---------|

問10 鎌倉時代、社会不安や元寇などの外患が続く中で、「南無妙法蓮華経」という題目を唱えることによって、人々だけでなく国全体も救われると説き、日蓮宗(法華宗)を開いた僧侶は誰ですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 親鸞 | 2. 道元 | 3. 法然 | 4. 日蓮 |
|-------|-------|-------|-------|

問11 鎌倉時代の1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目(貞永式目)」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 江戸幕府の基礎を固めるために、大名が勝手に城を修理したり婚姻を結んだりすることを禁じるため。 | 2. 中国の律令をそのまま導入することで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。 | 3. 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。 | 4. 朝廷の権限を強め、天皇や公家が武士を統制するための新しい法律を確立するため。 |
|---|--|---|---|

問12 日本の歴史における時代区分において、奈良時代や平安時代などの「古代」の次にあたり、江戸時代などの「近世」の前に位置する区分を何と言いますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 先史時代 | 2. 近代 | 3. 現代 | 4. 中世 |
|---------|-------|-------|-------|

問13 一遍の活動を描いた「一遍上人絵伝」という資料には、一遍が多くの人々の前で教えを説き、人々が熱狂的に集まっている様子が描かれています。時宗がこのように当時の農民や商工業者などの民衆の間で広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 座禅を組んで自らの力で悟りを開くことが、救済への唯一の道であると強調したから。 | 2. 念仏を唱えるという平易な行いによって、誰でも救われるという教えを説いたから。 | 3. 幕府の法典である御成敗式目を遵守することで、極楽浄土に行けると説いたから。 | 4. 交通の要所に巨大な寺院を建立し、幕府の権威を背景に布教活動を行ったから。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 後鳥羽上皇が倒幕の兵をあげた承久の乱の後、朝廷を監視し西日本の統治を強化するため	承久の乱以前の幕府は、主に関東を中心とした支配を行っていましたが、乱の勝利によって西日本にも大きな支配力を持つようになりました。朝廷による倒幕の動きを二度と許さないよう、監視の拠点として六波羅探題を設置し、西日本の地頭の統制や裁判も担わせることで、幕府による全国支配が強まるきっかけとなりました。
問2	答え 1 琵琶を弾きながら語り歩く琵琶法師によって、各地で語り伝えられたため	鎌倉時代に成立した『平家物語』は、平氏の繁栄と没落をえがいた軍記物語です。この作品は、琵琶を弾きながら物語を語る「琵琶法師（びわほうし）」によって各地へ広められました。音声によるパフォーマンスとして親しまれたことで、当時の識字率に関わらず、多くの民衆がその内容を知ることができました。
問3	答え 2 禅宗	鎌倉時代には、不安な社会情勢を背景に、それまでの貴族中心の仏教とは異なる新しい仏教が誕生しました。禅宗は、複雑な経典の読解よりも、座禅という厳しい修行を通じて自己の精神を鍛えることを重視しました。この「自力」で悟りを目指す姿勢が、生死をかけて戦う当時の武士の気風に合致したため、鎌倉幕府の北条氏らによって厚く保護され、発展しました。
問4	答え 1 帝国によって広域の交通網が整備され、商人や使節の往来が容易になったことで、東西の文化交流や交易が活発になった。	モンゴル帝国は、駅伝制（ジャムチ）を整備することで広大な領土内の安全性と交通の利便性を確保しました。これにより「モンゴルの平和（パクス・モンゴリカ）」と呼ばれる安定期が訪れ、マルコ・ポーロのような旅行者や東西の商人が活発に行き来できるようになり、火薬や羅針盤などの技術、さらには宗教や芸術がユーラシア規模で伝播しました。
問5	答え 3 承久の乱の後に急増した、地頭と荘園領主の間の土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。	承久の乱で幕府側が勝利した後、幕府の支配力が西日本にも及び、各地で任命された地頭と、もともとの土地の持ち主である荘園領主との間で土地をめぐる争いが多発しました。北条泰時は、武士の社会で行われていた慣習や道徳に基づき、裁判の基準を明確に示すことで、御家人たちに公平な裁定を約束し、幕府への信頼を高めようとした。これが武家社会のための最初の法律となりました。
問6	答え 4 御成敗式目	北条泰時は、源頼朝以来の武家社会の慣習や道徳を整理し、土地の争いなどを公平に裁くための基準を「御成敗式目（貞永式目）」としてまとめました。これは武士のために作られた最初の法典であり、後の武家政治の規範となりました。
問7	答え 3 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。	禅宗は、他者の力に頼るのではなく、座禅という厳しい修行を通じて自らの内面を見つめ、悟りを開く「自力」の教えです。常に戦場での決断を迫られる武士にとって、恐怖や雑念を捨て去り、精神を集中させる禅の技法は、単なる宗教以上の実践的な心の規範となりました。このため、幕府の要職にある武士たちの間で特に重んじられました。
問8	答え 1 十字軍	1095年のクレルモン公会議において、ローマ教皇ウルバン2世が聖地奪回を呼びかけたことで結成されました。この遠征は断続的に約200年間行われました。
問9	答え 3 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西日本の朝廷側の領地に地頭を任命するなど、その支配力を全国へと広げました。しかし、地頭の勢力拡大にともない、土地の境界や年貢の納入をめぐるトラブルが多発したため、北条泰時は武士の慣習や「道理」を基準とした公平な裁判を行うためにこの法を定めました。これは武士による最初の体系的な法律です。
問10	答え 4 日蓮	鎌倉新仏教の一つである日蓮宗を興した日蓮は、法華経の教えを絶対的なものと位置づけました。彼は当時の幕府に対し、正しい教えを信じなければ国に災いが起こると警告する『立正安国論』を献上したことで知られており、個人の安心立命だけでなく国家の安泰を強く願った点に特徴があります。
問11	答え 3 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。	1221年の承久の乱を経て、幕府の支配力は西日本まで拡大しましたが、それに伴い地頭（武士）と荘園領主（公家など）の間で領地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、それまでの武士社会で行われていた慣習（武家慣習法）を整理し、武士たちに納得感のある公平な裁判の基準を示すためにこの法典を制定しました。なお、大名を統制する法律は江戸時代の「武家諸法度」であり、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 4 中世	日本の歴史は一般的に、古代・中世・近世・近代・現代という大きな枠組みで区分されます。平安時代の末期から武士が政治の実権を握り始め、鎌倉時代や室町時代へと続く時期がこの区分に該当します。古代の貴族社会から、近世の幕藩体制へと移り変わる中間的な役割を担っています。
問13	答え 2 念仏を唱えるという平易な行いによって、誰でも救われるという教えを説いたから。	鎌倉新仏教の多くに共通する特徴は「平易性」です。一遍が説いた時宗は、念仏を唱えるだけで救われるというシンプルな教義に加え、音楽的な要素を持つ「踊念仏」を通じて民衆の心をつかみました。当時の厳しい社会情勢の中で、文字が読めない農民や忙しい商工業者でも実践できる救済の形を示したことが、爆発的な普及の背景にあります。選択肢にある御成敗式目は武士のための法律であり、座禅は禅宗（栄西や道元）の特徴です。